

発行

(公財) 秋田県暴力追放運動推進センター (旧名称 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

国際化・巧妙化する犯罪組織～近年、匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)や海外犯罪組織は、国境を越えて活動し、企業や社会の仕組みを悪用する手口を急速に巧妙化させています。反社会的勢力は、暴力だけではなく、企業活動や国際取引に溶け込む形で資金獲得を図る時代となっています。犯罪を「自分とは無関係」とは考えず、日頃から取引先や資金の流れに注意を払うことが、企業防衛の第一歩です。最近報道された二つの事件フェンタニル密輸と貿易マネーロンダリング事例を以下本文で紹介します。

◎「偽警察官、偽社長」要注意 ◎賛助会員募集中です。

◎「フェンタニル密輸」と「貿易マネーロンダリング」

○フェンタニル密輸 ～

合成麻薬「フェンタニル」は極めて強力な合成オピオイドで、海外では深刻な薬物乱用や多数の死亡事例を招いています。報道では、中国企業などが関与するネットワークが、日本を経由地の一つとして利用した疑いも指摘されており、薬物犯罪の国際化が改めて浮き彫りとなりました。

※ フェンタニルとは「オピオイド」と総称する麻薬性鎮痛剤の一種です。日本経済新聞が独自取材によって米国に合成麻薬「フェンタニル」を不正輸出する組織が日本に拠点を作っていた疑いとの報道を

配信しています。「フェンタニル」は、ヘロインの約50倍、モルヒネの約100倍強い効力を持ち、その蔓延が深刻な社会的影響を広げている「合成麻薬」で、わずか2ミリグラムの摂取で死に至るおそれがあります。2016年には米国の歌手プリンス(享年57)も誤って過剰摂取したことで命を落としています。トランプ米大統領が中国などに「フェンタニル関税」を発動するきっかけともなったようです。

○貿易取引を装った国際マネーロンダリング ～

警視庁は、SNS型投資詐欺でだまし取られた海外の被害金を、精密機器の輸出代金を装って日本国内へ送金し、資金洗浄した疑いで関係者を逮捕しました。犯行グループは虚偽のインボイス(送り状)を作成し、正当な貿易取引を装って銀行の監視を逃れようとしていたとされています。この手口は「貿易マネーロンダリング(TBML:Trade-Based Money Laundering)」と呼ばれ、架空取引や価格操作などで犯

罪収益を合法資金に見せかける国際的な資金洗浄手法として、世界各国で警戒が強まっています。

■ 以上二つの事例に共通するのは、

- ◎犯罪組織が国境を越えて活動していること
- ◎正規の物流・貿易・金融システムを巧妙に悪用していること
- ◎一見すると通常の企業活動と区別が付きにくいこと

です。企業・団体の皆様におかれましては、

- ◎新規取引先の実態確認
- ◎輸出入取引や高額送金の内容確認
- ◎インボイスなど取引書類の整合確認
- ◎不自然な資金移動や取引に対する社内報告・警察や金融機関への相談

を徹底し、自社が犯罪組織の資金洗浄や物流網に利用されないよう、コンプライアンス体制の強化が必要です。